

「 努力+挑戦=勝利への道 」平成27年度大津市立膳所小学校運動会より

《当日の様子》



《運動会までのあゆみ》



※裏面に、本校の平成27年度全国学力・学習状況調査分析結果を掲載しています。

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立膳所小学校

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について】

《概要》

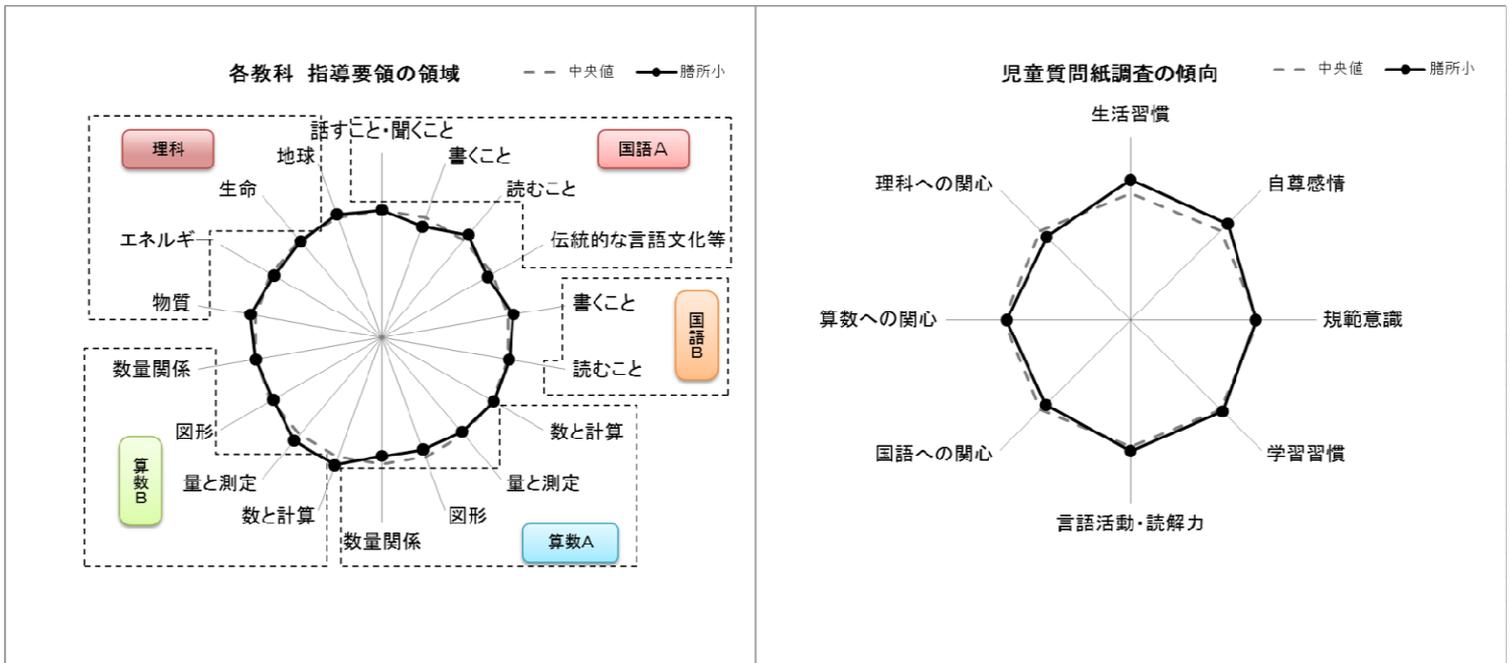
国語A、国語B、算数A・算数B、理科の全ての教科において、全体の正答率が全国の平均を上回っていました。国語Aの「書くこと」や算数Aの「図形」「数量関係」といった項目の一部で、全国平均を若干下回っていましたが、その他の項目については良い傾向が見られました。また、児童質問紙調査でも、「生活習慣」「自尊感情」「学習習慣」の項目で、例年に比べて良い傾向が見られます。ただ、各教科に対する関心があまり高くないという点については今後の課題と考えられます。

《強み・弱み》

A問題（基礎的・基本的な知識や技能の定着を見る）よりもB問題（基礎的・基本的な知識や技能を活用する力の定着を見る）の方が良い傾向でした。これは単なる知識や技能の伝達や教え込みではなく、児童自らが発見したり表現したりする形態を、授業に多く取り入れるよう意識してきた成果かもしれません。ただ、全国的な特徴と同じく、学習内容を日常生活の事象と関連づけて考えたり、目的や意図に応じて取材したり引用したりして文章にまとめる力をつけていく指導の充実が必要であると考えられます。

◇強み・弱みレーダーチャート◇

※本校の傾向を見るためのものであり、学校ごとに基準が異なるため、他校と比較できるものではありません。



【指導の充実に向けて】

- ◇各教科における言語活動をさらに充実させ、読むことと書くこと、話すことの関連を図った取り組みを進めます。
- ◇学習への関心を高めるため、アクティブ・ラーニングを意識しながら、「できた」「分かった」と実感できるよう楽しく分かりやすい授業をめざします。
- ◇基礎的・基本的な内容を定着させるために日常の継続的な取り組みを進めます。
- ◇学習習慣を定着させるために、「家庭学習のびのびプロジェクト」を活用し、家庭との連携をさらに深めます。

膳所小学校HP「今日の膳所小」より

